

「地域の教育的課題に対応するプログラム」
 おおすみくん家 漂流物たんけん隊
 ～漂流物から見えてくる、海・自然・人とのつながり～

1 趣 旨 錦江湾内の漂流物を採集し、それらがどんなものでどこから流れ着いたかを考えることをとおして、海・自然・人とのつながりに気付かせる。また、漂流物を使ったクラフト活動をとおして、それらを生かす工夫や環境問題に目を向けさせる。

2 期 日 令和2年11月15日（日）

3 参加対象 小学5・6年生

4 募集定員 20人

5 参加人数 11人

6 指 導 者 環境アート団体「色響」代表 芳田聡子 氏 国立大隅青少年自然の家職員 2人



7 日 程

時刻	活動内容
9:30	受付
10:00	開会式・オリエンテーション 活動1：海辺の漂流物をさがそう ①漂流物に興味をもとう ②気になる漂流物をさがそう
12:00	昼食
12:30	活動2：漂流物のルーツをさぐろう ①漂流物を紹介しよう ②漂流物を分類しよう ③漂流物はどこから来たのかを考えよう
14:00	活動3：漂流物で素敵な作品を作ろう
14:30	アンケート記入・閉会式・解散

8 事業運営上の配慮

- 漂流物の採集ではゴム付き軍手やトングを配布し、生き物や死骸を見つけたら職員に知らせる、ガラス片は細菌感染の危険があるのでトングを使うなど、安全指導を徹底した。
- 専門的知見を有する外部指導者と協議し、本事業の活動内容について互いに検討や精査を行った。

9 参加者の感想

- 漂流物でもそれを生かして工作ができることを学びました。
- 漂流物さがしでは、たくさん漂流物が落ちていたことや多くの種類があることにびっくりしました。

10 成 果

- 漂流物さがしでは、各自興味のある漂流物を採集し、多様な種類があることに気づいた。
- 漂流物を「海のもの／陸のもの」「人工物／自然物」の4つに分類する活動をとおして、漂流物には陸のものや人工物が多いことに気づくとともに、それらがどのように海へ流れついたかを知ることができた。

